

東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた機器・装置開発等
に係る福島ワークショップ(仮称)の開催について

平成24年6月25日
政府・東京電力中長期対策会議
研究開発推進本部・事務局

燃料デブリ取出し準備のための機器・装置開発等に係る研究プロジェクトにおいて適用候補となる技術シーズは、国内外の優れた技術を早期かつ広範に取り入れていく観点から、実施者である(株)東芝、日立GEニュークリア・エナジー(株)及び三菱重工業(株)において実施する一部プロジェクトについて、公募を経て技術カタログにまとめている。

また、中長期ロードマップ／研究開発計画を踏まえ、今後、炉内燃料取り出しに向けた機器・装置開発を行うことを計画している。

今般、福島県内の企業、研究機関、学識経験者の方々を対象として、これら研究開発の取組について情報共有・意見交換することを目的として、以下のとおり「東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた機器・装置開発等に係る福島ワークショップ(仮称)」を開催する。

日時：平成24年7月下旬～8月上旬 午後

場所：福島県内を予定

議題：①遠隔除染技術及び格納容器漏えい箇所特定、補修、内部調査技術開発等
に係る取組について(技術カタログを含む)

②中長期ロードマップ／研究開発計画を踏まえた取組について

参加者：福島県内の企業、研究機関、学識経験者等
一般及びプレスの方の傍聴可(要事前登録)

説明者：研究開発プロジェクト実施者(東芝、日立GE、三菱重工)

備考：本ワークショップの開催後も、県内企業、研究機関等から、技術的なご意見・ご提案をいただくことを検討していく。